

アナログプレイヤーの比較試聴(27)

—モーツアルトを聴く(27)—

1. 始めに

前報(26)に引き続き、アナログプレイヤー3機種 of 比較試聴を実施していきます。

2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種 of 試聴経路は、ThorensTD124 と Grrad401 の再生経路を変更した前報(18)と同様です。

音源は、モーツアルト of アナログ盤を使用していきますが、今回はピアノ曲です。

DENON OX-7051-ND

モーツアルト ピアノソナタ 1 番ハ長調
ピアノソナタ 2 番ヘ長調
ピアノソナタ 3 番変ロ長調
マリア・ジョアオ・ピリス (ピアノ)

DENON OX-7054-ND

モーツアルト ピアノソナタ 8 番イ短調
幻想曲ニ短調
ピアノソナタ 11 番イ長調
マリア・ジョアオ・ピリス (ピアノ)

DENON OX-7055-ND

モーツアルト ピアノソナタ 10 番ハ長調
ピアノソナタ 12 番ヘ長調
ロンドイ短調
マリア・ジョアオ・ピリス (ピアノ)

DENON OX-7056-ND

モーツアルト ピアノソナタ 13 番変ロ長調
ピアノソナタ 15 番ヘ長調
マリア・ジョアオ・ピリス (ピアノ)

今回も、各プレイヤーにターンテーブルアキュライザーTACU-1 を使用していきます。また、LINN LP-12 の再生系では、ダンパーフレークの導入(1)で報告したダンパーフレークを2ヶ所に適用しています。

3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

いずれも ZANDEN Model120 経由の LINN LP-12 と ThorensTD124 では、Columbia、逆相、第 4 時定数 Mid で聴いていきます。

DENON OX-7051-ND のみプレイヤー3 機種で聴き比べを行い、他は機種を替えてそれぞれ 1 機種で聴いていきます。

DENON OX-7051-ND の ThorensTD124 の再生では、初期の DENON の PCM 録音は、とかく音が硬いという印象でしたが、そういった印象はなく、力強く艶のある響きが聴けます。

LINN LP-12 の再生では、DENON の PCM 録音の音が硬いという印象はなく、ターンテーブルアキュライザーTACU-1 とダンパーフレークの効果で響きの良い音になっています。

Grrad401 の再生では、DENON の PCM 録音の音が硬いという印象はなく、ThorensTD124 と同様、力強い打鍵が聴かれますが、ThorensTD124 の艶のある響きは若干後退します。

DENON OX-7054-ND の ThorensTD124 の再生では、DENON の PCM 録音の音が硬いという印象はなく、力強い打鍵と華やかなピアノリズムの印象です。

DENON OX-7055-ND の LINN LP-12 の再生では、先の DENON OX-7051-ND と同様、音が硬いという印象はなく、響きの良い音になっており、若いピリスの女性らしい清新なピアノリズムが感じられます。

DENON OX-7056-ND の Grrad401 の再生では、ThorensTD124 ほどではありませんが、力強い打鍵と華やかなピアノリズムが聴かれます。

4. まとめ

ThorensTD124 と Grrad401 の再生経路を変更した結果も、3 機種 3 様の再生パフォーマンスが確認できましたが、ターンテーブルアキュライザーTACU-1 の効果や、LINN LP-12 ではダンパーフレークの効果も加わって、以前のような DENON の PCM 録音の硬いという印象はなく、力強く華やかな打鍵の音や響きの良さが目立ってきています。

以上